

Subagentsによる自動化

3つのエージェントで品質を安定化

アジェンダ

1. Subagentsとは
2. 3つのエージェント
3. ワークフロー
4. まとめ

Subagentsとは

役割を分担した専門エージェント

- 自然言語でトリガー
- 各エージェントが専門タスクを実行
- 品質が安定する

create-agent

スライド作成を担当

- 下書きを読み込み
- Marp形式に変換
- 構成を自動決定

トリガー: 「スライドを作成して」

review-agent

品質チェックを担当

- 構文チェック
- 文字数検証（タイトル30文字以内など）
- 改善提案を出力

トリガー：「スライドをレビューして」

build-agent

ビルドを担当

- HTML出力
- PDF出力
- エラーハンドリング

トリガー: 「スライドをビルドして」

ワークフロー

「スライドを作成して」



create-agent: 1_input → 2_slides



「スライドをレビューして」



review-agent: 検証・改善提案



「スライドをビルドして」



build-agent: 2_slides → 3_output

まとめ

- 3つのエージェントで役割分担
- 自然言語でトリガー
- 品質が安定する

ご清聴ありがとうございました